

Flash Eyes

観戦ガイド1月20日号

天皇杯・皇后杯
平成30年度
全日本卓球選手権大会
(一般・ジュニアの部)
丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
平成31年1月14日(月)
～1月20日(日)



1月20日の予定

- シングルス 準決勝～決勝
- 閉会式

◆試合速報

●全日本選手権特設サイト
<http://www.japantabletennis.com/zennihon2019/>

◆丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)

大阪市港区田中3-1-40
TEL 06-6576-0800
https://www.yahataya-park.jp/osaka_arena/index.html

●大阪メトロ(地下鉄)「朝潮橋駅」
下車徒歩3分



会場は早朝から長蛇の行列に

テレビ放送

1月20日(日)

- BS1 10:00～(14:50)
- Eテレ 15:00～(17:00)



放送用の中継車

全日本 一球入魂



1月19日、平成30年度全日本卓球選手権大会6日目が行われた。男子ダブルスは、準決勝で前回王者の水谷隼・大島祐哉組を破った木造勇人・張本智和組が悲願の初優勝。女子ダブルスは昨年優勝で世界ランク1位の早田ひな・伊藤美誠組が笑顔の2連覇。

本日はいよいよシングルスチャンピオンが決定する。男子はダブルス準決勝で対戦したペアが個別に分かれ、張本智和VS大島祐哉、木造勇人VS水谷隼の対戦となり、2連覇2冠に臨む張本、史上最多10回目の優勝を狙う水谷に大島、木造は食らいつけるか。女子は、女子史上初の2年連続3冠に挑む伊藤美誠と、ダブルス優勝パートナーの早田ひなが準決勝で激突。地元大阪で5年ぶりの決勝進出を狙う森さくらか。史上最年少優勝を目指す木原美悠か。・・・平成最後の天皇杯皇后杯は一体誰の手に!?

女子シングルス準決勝組み合わせ



	伊藤 美誠	
	VS 10:00	
	早田 ひな	

昨日ダブルス2連覇を成し遂げたばかりのパートナーが対決。昨日の友が今日の敵に変わり、どのような戦いが繰り広げられるのか。



	森 さくら	
	VS 11:00	
	木原 美悠	

5年ぶりの決勝進出を狙う森と、勝てば史上最年少14歳でのシングルス決勝進出となる木原。平野を倒して波に乗る木原の勢いを森は止められるか。

男子シングルス準決勝組み合わせ

	張本 智和	
	VS 12:00	
	大島 祐哉	

連覇を狙う張本と地元関西出身の大島の対戦。昨年の全日本の準々決勝で張本に敗れている大島はリベンジなるか。見応えのあるラリー戦に期待。

	木造 勇人	
	VS 13:00	
	水谷 隼	

全日本ジュニア2連覇経験のある木造と12年連続決勝進出中の水谷。全日本で圧倒的な安定感を誇る水谷を木造は崩せるか。

1/19 PHOTO トピックス



■ 福原愛さんに特別功労者賞

ロンドン・リオ五輪団体メダリストで昨年引退を表明した福原愛さんに長年にわたる卓球界への貢献をたたえた特別功労者賞が授与され、福原さんは「この賞を糧に、卓球界、スポーツ界に貢献できるよう努力していきたい」と語った。

■ 頑張るボールパーソン

大会後半の19日からマルチボールシステムが導入され、地元の中学生ら14名がボールパーソンとして頑張り、試合のスムーズな進行に貢献している。

▼男女ダブルス優勝者インタビュー▼



早田ひな選手

昨年優勝して追われる立場だったのですが、2連覇のプレッシャーの中でも緊張に負けないくらいお互いに明るくして、良いところを出して試合を進めることが出来たのが一番良かったです。追われる立場でもチャレンジャーの気持ちを忘れなかったのが良かったです。

伊藤美誠選手

去年の優勝からたくさんのツアーに出て経験を積んでさらにレベルアップした自分たちを見てもらえたかなと思う。中国選手に勝ってグランドファイナルで優勝したり、たくさん経験を積んだので、次は世界選手権で金メダルを目指して頑張っていきたいです。

早田・伊藤組 V2

早田	3	11-3	1	芝田
伊藤		11-9		大藤
		12-14		
		11-6		



張本智和選手

ゲームオールジュースで何度もマッチポイントを握られて何度も負けそうになりましたが、最後は木造さんが思い切ってチキータしてくれて、そのおかげで勝つことができました。優勝したときのパフォーマンスは昨日から考えていましたが、最後は余裕がなく、思わず木造さんに抱きついていました。

木造勇人選手

最後は弱気になると負けてしまうので、強気で自分から攻めるということを忘れずにプレーしました。最後は張本が自分を信じろと言っていたので、信じてみようと思ってやりました。

木造	3	9-11	2	松山
張本		11-7		高見
		5-11		
		11-5		
		16-14		



木造・張本組 初V

優勝を決め、木造に飛びつく張本

